

広報 かがわ

第72号

編集発行
香川自治会
広報委員会
中央タイプ印刷

グラッ!
ときたら
火の始末

伝統の浜降祭

協賛寄付で行われる



自治会館前をねり歩くみこし

自治会館山口さん撮影

毎年七月十五日に行われる、神奈川県の無形文化財である浜降祭には、文化財を守り、育成するという趣旨にそって、香川からも毎年、大小二基のみこしに参加しておりますが、費用の捻出に関係者は頭を痛めておりました。

今年度、初めて協賛寄付という事で、ご協力をお願いいたしましたところ、会員皆様の暖かいご理解を戴き、約千九百三十世帯、八十六万二千五百円という沢山のご寄付が集まり、昭和五十八年度の浜降祭を盛大に行うことができました。

これもひとえに皆様のご理解とご協力があったればこそ、と心から厚くお礼申し上げます。

残念だった盆踊り大会

今年度の盆踊り大会は、台風のため、本番が十四日のみとなり、六日間に亘り練習に、指導にと精を出された皆様には本当に残念なことになりました。来年度は予備日を設ける等の検討をして、充分に踊ることができるよう、次年度の委員長に引き継ぎたいと考えています。

なご収支の明細は各町内に回覧いたします。

文化祭のご案内

昨年度より香川文化祭として、会員の「親睦とふれあい」をテーマに実施し、不馴れな運営にもかかわらず皆様に喜んで戴きました。本年度も同じ、会員の「親睦とふれあい」をテーマに昨年度の反省を活かして、第二回香川文化祭(十月末～十一月初め)を開催いたします。各団体に所属されている方々、また個人個人、どなたでも出演、出品、展示できますので遠慮なくご参加下さい。なお、出品についてのお問い合わせや、ご意見、ご要望がありましたら、各町内の文化厚生委員又は、町内会長までご連絡下さい。

- 第一 野中末春 (51)一四二八
- 第二 岩田 實 (52)〇〇四七
- 第三 熊沢雪子 (52)二八八四
- 第四 三橋俊男 (52)六七一八



自治会活性化 のために 課題の解決に 長期的対応を

神部 源

「香川三百軒」といわれていた頃から移り住んで三十年を迎えました。昨年の春、はからずも自治会の役員をお引き受けることになりました。

「長い間、お世話になりっぱなしだった地域のお役にたてるなら」という気持ちがそうさせたのであって、自治会のこと何一つわからなかった私ですが、一年半を過ぎてどうやら自治会のことともわかるようになったのかなと思ふようになりました。それに伴って、こうしたら良い、こうすべきだろう、という問題意識ももてるようになりました。

そのなかで次にご紹介する二点は、残る任期が六カ月という現執行部では扱いかねる課題であると思われ、次期以降の役員さんに取り上げていただけたらと思ふ提案する次第です。その一つは「自治会役員の隔年一斉改選の検討」ということです。

ご存知のとおり現行では、毎年交代する組長さんは別として、会長はじめ自治会役員は、任期二年ということから奇数年に全員が一斉に交代しています。ところが、いざ新メンバーで自治会運営に当たってみると、事業や予算を検討するのに必要な前例や事実関係を把握するにも、行事開催に必要なノウハウをマスターするにしても、初めの一年は徒に時間を費やすことが多いなど、経験者不在の体制は極めて効率の悪いものになります。また、一方では、偶数年に交代した組長さんの中からは全く役員が選ばれないという不公平な面もみられます。任期はそのまま各役職別に半

数ずつ交代の形がとられたらと思います。会則改定を伴うことでもあり、特別委員会の設置が必要となるかも知れませんが是非実現していただきたいことです。二つめは「回覧板から組別掲示板による情報伝達の検討」ということです。

遅い回覧板に対する苦情は古く新しい問題であり、スムーズな情報伝達を基盤とする自治会活動にとって重要なことです。今後も全日制住民の減少化傾向は進行するであろうといわれている情勢下では、在、不在を問わず一軒一軒順番に回覧する回覧板システムの機能は低下する一方ではないでしょうか。思い切って組別掲示板による伝達方法に転換したら如何でしょうか。

この組でも、出勤や日用品購入のため、日に一回は通る道角が必ずあるはずで、そこに掲示板を設け、毎日一ペンは家族の誰かが注意して見るといふクセをつければ良いと思うのですが、また、その場所がコミュニケーションコーナーとなる期待ももてるのではないのでしょうか。経費や設置場所の確保など、問題も少くありませんが、早晩検討してほしいことです。

(第二町内会長)

香川にも 公共施設を

池田和子

近頃、子どもが、小学校へ入学すると、さまざまな理由で共働きのご家庭が多くなりまして、そういう私も仕事をしておられます。仕事をしている者として、やはり、子どもの放課後が一番気がかりです。五十年代末から、高度成長を続けてきたわが国は、急激に私達の生活を変えてきました。すべてが便利に、商品化され、消費生活が肥大化してきました。大人たちが、健康から趣味に至るまで、お金を出して買うような状況が子どもたちのあいだにも広がっております。

テレビ、週間誌などからの情報に敏感に反応し、努力することをせず、お金さえあれば自由に好きなものを手に入れることができると思っております。昔ながら、地域のお店に行き、そこのおばさんとの対話がありました。今は人に接することなく自分のほしいものを手に入れることができます。

香川には、まだまだ自然も残っておりますし、ゲームセンターなども少ないようですが、子どもの心を蝕むゲームセンターなどを、これ以上増やさない健全な地域づくりをめざしていただきたいものだと思います。

それには子供同志、また大人と子どもが利用できる公民館や、図書館など不特定多数の、いつでも、だれでも対象にした公共施設の充実を計っていただきたいと思ふます。そして、今ある自然を残し緑豊かな公園もぜひほしいものだと思います。それを少しでも実行していくには、どのような協力も惜しまないという地域住民の理解と意識が必要なのではないでしょうか。

「私の提言」を掲載してからすでに七回目になりました。それに対する同意、反論、ご意見などを知りたいと思ふますので、ぜひご近所の広報委員までお寄せ下さい。

なおいっそう「明るい住みよい町、香川に」のテーマが生かされるのではないのでしょうか。広報より

(詩) 雨のあしあと

三年 磯部 薫

わたしは、お父さんとおさんぽにいきました。すると、ぼつぼつとみんなの道に雨のあしあとができました。

子ども達に生の文化を

かがわ文庫人形劇サークル

今回は香川の子供たちに読書の楽しみをみつけてもらおうとつ手段として、人形劇で活躍しているかがわ文庫の中の人形劇サークルを訪ねてみました。

何年頃発足したのですか、その動機は？

「かがわ文庫の発足が五十三年一月、それから二年あまり本の貸出しだけだったのですが、ただ貸し出すだけでなく、子供たちによりいっそう本好きになってもらいたいのと、ここへ来れば楽しめる文庫にしたいのと、と従来あった映画班に加えて紙芝居、読み聞かせ等もやるようになったことになり、手づくりの紙芝居などをやっていったのですが、人形劇など子供たちに喜んでもらえるのではないかと、五十五年三月に行われた文庫まつりをきっかけに香川の元学級PTAで作成した人形をゆずりうけ「てぶくろ」を上演、それから人形劇班として発足しました。しかし、なかなかどうやって人形を製作したらよいかかわからず、布でなぞなどを作成したり紙芝居を作っていた時に、松浪人形劇サークルで「ひとみ座」の方の指導による講習会を主催



(サークルの皆さん)

するとい情報が入り、二名が参加しました。十月から十二月初めまで十回小和田公民館に通い、同時に自治会館でほかの人形作りを始めて十二月十九日クリスマス会に「ふたごのうさぎ、みみ助、みみ平」を上演することが出来、大勢の子供たちに喜ばれました。講習会に通いながらの練習でしたのでたいへんでしたが、みんなの熱意と香川の子供たちに生の文化をーとほりきったたまものでした」

現在、練習日は、班員は？

「毎月第二・第三水曜日の午後一時から三時までやっています。台本を選び、人形づくり、配役を決め、本読みから立ち上げいまで、当初一年に一作のつもりが今では半年に一作やることも出来るようになりました。メンバーは十名ですがあまり多くてもいろいろ運営がたいへんで、少ななくてもやれないし、人数がいちばん気を使い悩むところですよ」

資金などはどうしているのですか？

「文庫から少しいただいています。個人負担したり、カンパ、部内バザー、上演の際の謝礼でまかなっています。本来は謝礼をいただくが無料ということなので



(ただいま練習中)

すが、どうしてもという時にはお心ざしをカンパとしていただいております」

活動の場は？

「香川の子供達があくまでも主体で活動の場も原則として自治会館というところになっていますが、ちよつとした縁で幼稚園三カ所文庫間の技術交換会二回、学級PTA活動や子供会に人形とメンバーを貸出したりしました。今年の七月には新図書館の落成記念行事として上演させていたいただきました」

たいへんではありませんか？

「そうですね、演じるについては、緊張してあがったり、トチったりしますが、やる楽しみと子供にみてもう楽しさみでやりがいがあります。でも子供たちの心の中にどれくらい影響を与えられるか、楽しんでもらえたら不安もあります」

人形を作るのが好きな人、演じるのが好きな人というメンパーがいてそれなりに充実しております。そして、先輩の人形劇グループ「どんぐり」さんをはじめ他のグループの方々の助けを受けることが出来、恵れています」

これからの抱負を、みなさんにひとことずつ……

「オリジナルをやりたい、音楽なども、一年にやる数が少な

くても、大作を手がけてみたい」

「もっといろいろ学習したいので、講習会を市で(図書館等)で開催してほしい。(人形づくり、演技指導まで)」

「文庫に集まる子供たちと人形をとおして、ふれあいを深めていきたい」

「細く長く続けていきたい」

みなさんいろいろな個性の持

主の集まりですが、ただひとつ

子供の未来を大切に、少しでもその成長に役立てればと願

っていることが感じられました

そして人形制作はどういうわけ

か制作者に似るんですよと笑っ

ていました。それだけ愛情がこ

もっているのでしょう、どうぞ

いつまでも感受性豊かに子供た

ちのために活躍して下さい。

私の自慢



七月二十日頃、昨年に続き今年も月下美人が夜九時頃から良い香りと共にぼつぼつと咲き始め、一夜に十五個もの見事な花

を開いた。我が家にいたいたいは四年ほど、実際には十年位たったものだと思います。

池田ヒロ(第一町内)

第二回 地域懇談会 開かれる

七月二十一日香川小理科室において、青少年育成協議会主催の地域懇談会が開かれ、会長岡本豊氏の司会で学区内の小・中学校の校長、教頭、生活指導の先生方、香川、甘沼自治会長、諸団体の役員、そして一般の方々約四十数名で子供の健全育成について話しあわれました。

前回と同じような内容の話合いが多かったのですが、二、三をひろって見ました。

「市内での小、中学生の万引が多いようですが、非行の芽は小学校の二、三年生で摘んで四年生迄になおらないとそのまま大人になっても直らない。万引の場合、商店から家庭に連絡があったら先生にも知らせ、家庭と学校と一体になって対処すべきだと思ふ」

◎注意しましょう

市より「ごみの出し方」についてのお知らせが各戸に配布されました。しかし、毎回のこと乍ら守られていないようです。それは「生ごみ」以外のものが各所で入れられているからで、ごみ収集の人達から自治会に度々、苦情が聞かれます。

きめられたごみ以外のものをに入れて焼却炉をこわし、修理費は税金として市民に返ってきます。税金が高くなるのは自業自得ですが、きちんと出している人は迷惑をします。お互い、他人に迷惑を掛けないよう注意しましょう。

6月12日	浜降祭実行委員会
25日	役員会
28日	文化厚生委員会
7月10日	浜降祭実行委員会
15日	浜降祭(神輿一基参加)
16日	役員会
19日	環境整備委員会
26日	文化厚生委員会
30日	役員会
31日	環境整備委員会
8月2日	地区会計委員会
7日	文化厚生委員会
7日	浜降祭実行委員会
7日	盆踊り練習
10日	盆踊り全体練習
12日	盆踊り全体練習
16日	消防委員会(出動)
17日	台風五号のため対策本部を設ける
20日	盆踊り反省会
27日	役員会
27日	体育振興会
28日	浜降祭反省会
9月3日	体育祭打合わせ
5日	広報委員会

計報

6月19日	第三町内会	15組
	浜田トク殿	80才
7月15日	第四町内会	12組
	高橋キク代殿	62才
7月28日	第四町内会	24組
	川野敏雄殿	88才
7月30日	第一町内会	9組
	鈴木貴之殿	19才
8月17日	第四町内会	36組
	山崎松美殿	44才

謹んでお悔み申し上げます。

編集後記

今年の盆おどりは台風のため一日でお流れになってしまった。その十四日は晴れ間に大勢の人が集まって、踊りの輪が広がっていった。

なんとなく気恥ずかしく思っても、輪の中へ入ってみると結構たのしく、次もやってみようかという気さえしてくる。

秋も深まるにつれ、地区体育祭や文化祭などが催されるが、少しでも大きな輪(和)に広がってほしいものだ。